

令和元年度地方創生応援税制認定事業評価書

担当課： 体育施設整備課

1 事業概要

事業名	東町運動公園体育館魅力向上プロジェクト			
総合戦略における位置付け	基本目標	Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す		
事業目的	大規模大会やプロスポーツを誘致できるスポーツコンベンションの拠点となる東町運動公園体育館の魅力向上に向けた取組を進め、「するスポーツ」だけでなく「みるスポーツ」を伸展させ、観光交流人口の拡大を図り、地域経済・産業への波及効果を生み出し、まち全体を活性化させることで、本市への移住・定住につなげていくことを目的とする。			
事業期間	2019(令和元)年度～2021(令和3)年度			
事業費(千円)	総事業費	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度
	うち寄附額	30,000	0	—
	30,000	0	—	—
事業内容	<p>【事業概要】 東町運動公園体育館の施設機能を高めることで、コンベンション誘致に向け、大会等開催者へ迫力ある演出効果を生み出せる魅力ある施設として、強いインセンティブを与え、スポーツにとどまらない幅広い利用の促進を図ることにより、多様な交流、にぎわいを創出し、まちなか全体の活性化につなげていく。</p> <p>【具体的事業】 体育館メインアリーナに多様な懸垂物に対応可能な吊りバトン(トラス)を整備するとともに、民間活力を活用して日本最大級の大型映像装置を設置する。あわせて、各種メディアを活用しながら、戦略的な情報発信、PR活動を展開し、幅広い分野にわたるコンベンション誘致活動を進める。</p>			
2020(令和2)年度以降の取組内容	<p>本事業については、応援税制に加え、地方創生拠点整備交付金を活用し、施設に集客力をより高める事業を展開していくため、新たな計画である「東町運動公園体育館集客力アッププロジェクト」として、2019年度に国の認定を受けたところである。</p> <p>そのため、当初計画であった2019年度における施設整備は実施せず、新たな計画に基づき、2020年度において、施設整備を進め、施設の機能強化を図るとともに、引き続きコンベンション誘致活動を積極的に展開していく。</p>			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		基準値 2018(平成30)年度	目標値 2019(令和元)年度	実績値 2019(令和元)年度
1	観光交流人口(人)	3,965,900	4,090,000	3,742,000
2	大規模大会(東日本大会以上)等の誘致数(大会)	9	13	11
達成率平均値 (実績値-基準値)/(目標値-基準値)				-65%

(2)評価

達成度	評価
D	<p>本事業における施設整備については、内容の見直しにより、新たな計画に基づき、2020年度に行うこととした。</p> <p>また、東町運動公園体育館については、2019年4月に供用を開始し、茨城国体をはじめとする大規模なスポーツイベントのほか、B2リーグ茨城ロボッツのホームアリーナとして公式ゲームが開催されるなど、県内外から多くの集客につながっている。</p>

※達成度は、国の評価基準を踏まえ、達成率平均値に基づき設定

- A:地方創生に非常に効果があった(100%以上)
- B:地方創生に相当程度効果があった(70%~100%未満)
- C:地方創生に効果があった(50%~70%未満)
- D:地方創生にあまり効果が見られなかった(50%未満)

(3)今後の取組

方針	主な取組
事業内容の見直しを行う	2020年度において、体育館メインアリーナに、日本最大級の大型映像装置(4面スクリーン)、リボンビジョン等を整備し、迫力ある演出機能を追加することにより、「見るスポーツ」における高付加価値のサービスを提供できる施設へと深化させ、さらなる集客の向上につなげていく。

※方針は、国の評価基準を踏まえ設定

- ・事業が効果的であったことから、取組の追加等更に発展させる
- ・事業内容の見直し(改善)を行う
- ・事業を継続する
- ・継続的な事業実施を予定していたが中止した
- ・当初予定通り事業を終了した